

# 少雨に対する農作物の技術対策

平成28年6月10日  
農業技術課

## 1 経過

5月下旬以降まとまった降雨がなく、土壌が乾燥してきている。

5月の降水量（甲府地方气象台）は合計54mmで、平年値の86.3mmに比べると平年比約62%と少ない状況で経過している。

6月上旬は、昨日（6月7日）までに計4.5mmと少雨の状態が継続している。

6月5日に梅雨入りしたが週間予報を見ても、一時雨の予報はあるが期待出来るほどの降雨でないと見込まれる。この時期は、果実肥大に対し重要な時期であるため、降雨状況に応じた灌水を行う必要がある。

<週間予報> 6月10日午前11時発表：甲府地方气象台

6月10日11時 山梨県の週間天気予報

日付	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	
山梨県 府県天気予報へ	曇時々晴 	曇 	曇時々雨 	曇一時雨 	曇時々晴 	曇一時雨 	曇 	
降水確率(%)	10/0/20/10	20	90	60	20	60	40	
信頼度	/	/	B	C	B	C	C	
甲府	最高(°C)	31	29 (25~30)	25 (22~29)	29 (25~32)	30 (26~33)	26 (23~30)	31 (27~34)
	最低(°C)	20	19 (17~20)	19 (17~20)	19 (17~21)	19 (17~20)	20 (18~22)	21 (19~23)
平年値	降水量の合計		最高最低気温					
			最低気温		最高気温			
甲府	平年並 15 - 33mm		17.7 °C		27.1 °C			

<関東甲信地方1ヶ月予報> 6月2日発表：気象庁気候・海洋気象部

平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%。

週別の気温は、1週目は平年並または低い確率ともに40%。2週目は、高い確率50%。3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%。

## 2 技術対策

### (1) 果 樹

- ・モモ、スモモの果実肥大や大房系ブドウの果粒肥大促進を図るため、定期的な灌水等を実施する。
- ・モモ、スモモでは1回の灌水量を20~25mmで5~7日間隔、ブドウでは1回の灌水量を25mmで、灌水間隔を開花前では7日間隔、落花直後からは5日間隔を目安に灌水を行う。
- ・樹冠下は、敷ワラや草刈により土壌乾燥を防止する。
- ・灌水施設等のない園では、樹冠下を中心に1樹当たり200~300ℓを灌水する。
- ・なお、幼果や葉に直接水がかかると、病気を助長する可能性があるため、スプリンクラーのヘッド角度等に注意する。
- ・アウトウでは、収穫期に入った場合は裂果の心配があるため、散水程度とし、収穫後にたっぷりと灌水する。

### (2) 野菜・花き

- ・スイートコーンでは、雄穂抽出期（節間伸長期）から収穫までの時期に乾燥すると果粒の肥大が悪くなり、品質低下につながるため、適宜灌水する。特に無除けつ栽培では、葉からの水分蒸散が多くなるため、灌水も多く必要となる。
- ・野菜・花きの露地栽培では、朝方でも葉がしおれるような場合は、適宜灌水する。